SONY

3-080-707-02(1)

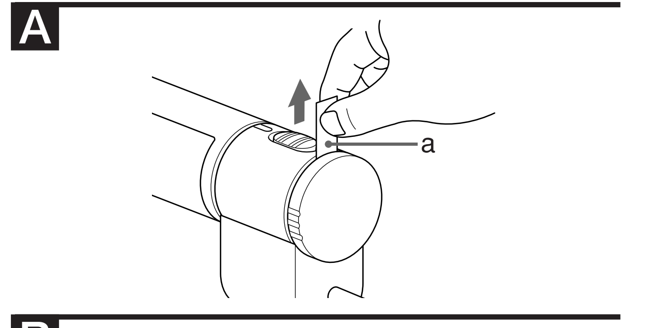
エレクトレットコンデンサーマイクロホン
Electret Condenser Microphone

取扱説明書
Operating Instructions
Mode d'emploi
Bedienungsanleitung
Manual de instrucciones
Gebruiksaanwijzing
Bruksanvisning
Istruzioni per l'uso
Manual de instruções
Инструкция по эксплуатации
使用說明書
작동 지침서
تعليمات التشغيل

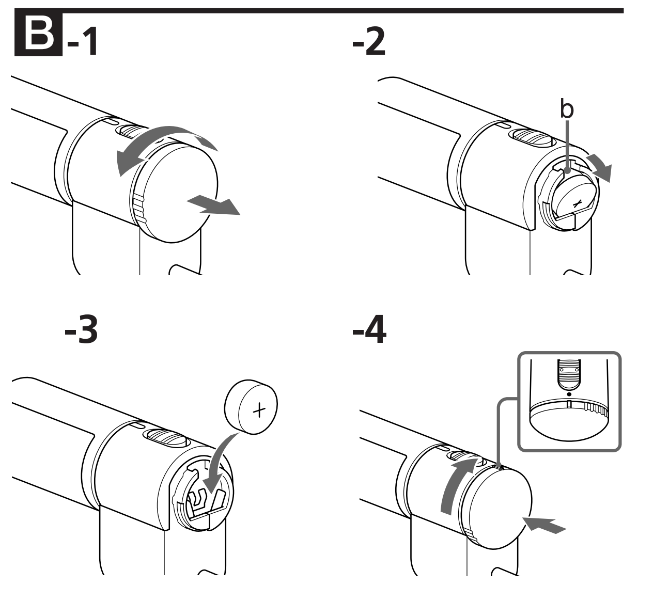
ECM-MSD1

©2003 Sony Corporation Printed in Japan

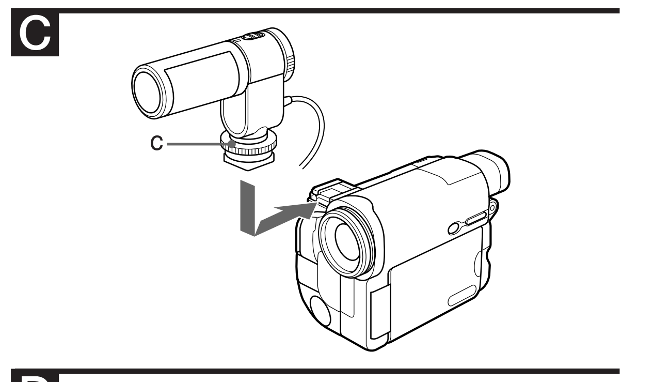
A



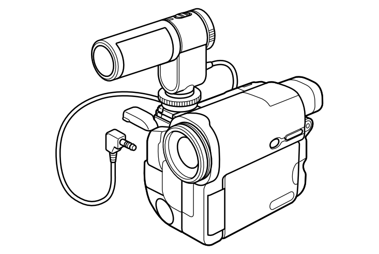
B



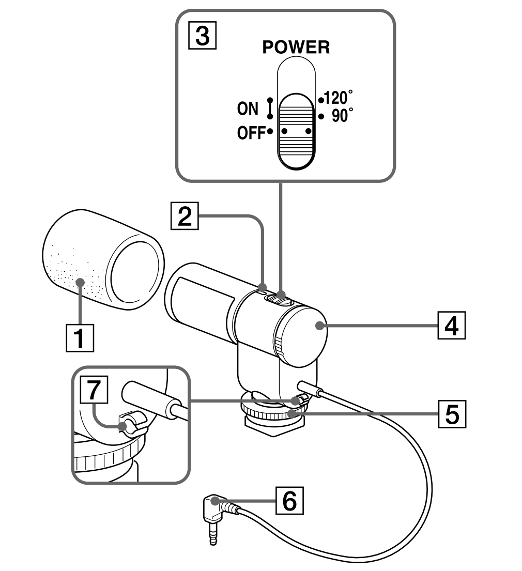
C



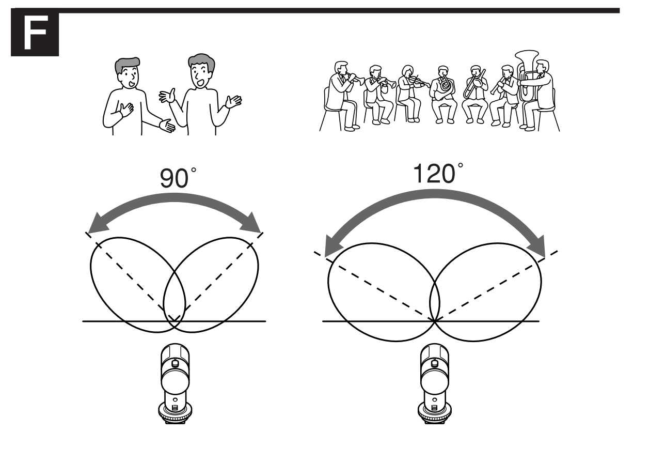
D



E



F



http://www.sony.net/

この説明書は100%古紙再生紙と VOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。
Printed on 100% recycled paper using VOC (Volatile Organic Compound)-free vegetable oil based ink.

日本語

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- **安全のための注意事項を守る**

この「安全のために」の注意事項をよくお読みください。

- **故障したら使わない**

動作がおかしくなったり、グリップやコードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターに修理をご依頼ください。

- **万一、異常が起きたら**

変な音・においがしたら、煙が出たら ➡

① **電源を切る**
② **ボタン電池を取り出す**
③ **お買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターに修理を依頼する**

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告 **この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。**

⚠注意 **この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。**

注意を促す記号	行為を禁止する記号
火災　感電	禁止　分解禁止

⚠警告 下記の注意事項を守らないと、火災・感電により大けがの原因となります。

火災　感電

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、ボタン電池を取り出して、お買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

禁止

⚠注意 下記の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の家財に損害を与えることがあります。

内部を開けない

感電の原因となることがあります。
内部の点検や修理はお買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターにご依頼ください。

分解禁止

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や直射日光のあたる場所には置かない

故障の原因となります。

禁止

落としたりぶつけたりしない

故障の原因となります。

禁止

ボタン電池についての安全上のご注意

⚠警告 下記の注意事項を守らないと、火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

火災　感電

- 指定された種類のボタン電池を使用してください。
- ボタン電池は、乳幼児の手の届かないところで保管・使用してください。
  飲み込むと中毒を起こしたり、窒息するおそれがあります。もし、ボタン電池を飲み込んだときは、すぐに医師の治療を受けてください。
- 機器の表示に合わせて、⊕と⊖を正しく入れてください。
- 電極（⊕と⊖）を金属製品（ネックレスやヘアピンなど）でショート（短絡）させないでください。
  また、金属製品といっしょに携帯、保管しないでください。
- 火のそばや直射日光のあたるところ、炎天下の車の中など高温の場所で使用、保管、放置しないでください。
- 釘をさしたり、カナヅチでたたいたり、踏みつけたりしないでください。
- 使用後、充電しないでください。
- 水などにぬらしたり、風呂場などの湿気の多いところで使わないでください。

⚠注意 下記の注意事項を守らないと、おもわぬけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

- ボタン電池を使い切ったとき、長期間使用しないときは取り出しておいてください。
- 使い切ったボタン電池を入れたままにしないでください。

主な特長

本機は、マイク端子と*アクセサリーシュー付きのビデオカメラレコーダーで使用できます。
- MS（Mid-Side）ステレオ方式の採用により、臨場感あふれる録音ができます。
- 収音対象により指向角（音の拡がり感）を90度と120度の2段階に切り換えることができます。

* アクセサリーシューの搭載されていない機種でも、別売のビデオアクセサリーシューVCT-55Lを取り付けることにより使用可能です。

取り扱い上のご注意

- マイクロホンは精密機器です。落としたり、たたいたり、強い衝撃を与えないでください。
- 高温多湿の場所、特に温度が60℃以上のところでの使用、保存は避けてください。
- 使用中、マイクロホンをスピーカーに近づけると"ピー"という音が発生することがあります（ハウリング現象）。その場合は、マイクロホンとスピーカーの距離をできるだけ離すか、スピーカーの音量を下げてください。
- 録音中に指向角を切り換えると、ノイズが入ることがあります。
- バッテリーチェックランプは、電池の消耗を押さえるため一瞬だけ点灯してすぐ消えます。切り忘れにご注意ください。

ご使用の前に（イラストA参照）

出荷時にはすでにボタン電池が装着されています。電池の消耗を防ぐために絶縁シート（a）が入れてありますので、抜いてからご使用ください。

ボタン電池の取り換えかた（イラストB参照）

1 バッテリーカバーを反時計方向に「カチッ」と音がするまで回してはずす。
2 切り込み口（b）に細い棒状のものを差し込んで、電池を取り出す。（金属の棒は使用しないでください。ショートするおそれがあります。）
3 ⊕面を外側にして新しいボタン電池を入れる。
4 バッテリーカバーを時計方向に「カチッ」と音がするまで回して戻す。

電池の交換時期

ボタン電池が使える状態のときは、電源を入れると、バッテリーチェックランプが一瞬光ります。光りかたが暗かったり、光らなかったりした場合にはボタン電池を交換してください。付属のソニーアルカリボタン電池LR44では約100時間連続して使用できます。またソニー酸化銀電池SR44では約200時間連続して使用できます。（使用条件により異なります。）

対応機器につなぐ（イラストC、D参照）

シューアダプター（c）をビデオカメラレコーダーのアクセサリーシューに取り付けてください（イラストC参照）。ビデオカメラレコーダーの電源がOFFになっていることを確かめてから、ステレオL型ミニプラグをマイク端子につなぎます。（イラストD参照）。

各部の名称と使いかた（イラストE、F参照）

1 ウインドスクリーン
マイクにかぶせ、風や息が直接あたるときに発生する"ボコボコ"という雑音を減らします。

2 バッテリーチェックランプ
電源／指向主軸角切り換えスイッチをOFFからONにすると一瞬光り、電源の状態を知らせます。光りかたが暗かったり、光らなかった場合にはボタン電池を交換してください。

3 電源／指向主軸角切り換えスイッチ
収音する対象により切り換えます。

ON	電源が入ります
OFF	電源が切れます
90°	広がり感の少ない音源や遠くの音を収音するとき（会話やソロ演奏など）
120°	広がり感のある音源や近くの音を収音するとき（コンサートや演劇など）

上の表の内容は目安です。
お客様の好みに合わせて切り換えてください。

4 バッテリーカバー

5 シューアダプター

6 ステレオミニ型Lプラグ

7 コードクランパー
コードを挟んでください。

主な仕様

形式	MS（Mid-Side）方式
コード長さ	約28cm
電源	ボタン電池（LR44/SR44）
連続使用時間	（常温時）約100時間（LR44使用時） （SR44使用時は約200時間）
外形寸法	約27mm×60.5mm×72.5mm （ツマミ、回転ノブ、コード除く）
重量	約50g（電池含む）
付属品	ウインドスクリーン（1） ソニーアルカリボタン電池LR44（1）（本体に装着済み） ポーチ（1） 取扱説明書（1） 保証書（1）
指向特性	90度と120度の2段切替（イラストF参照）

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

お問い合わせ窓口のご案内

■ テクニカルインフォメーションセンター
ご使用上での不明な点や技術的なご質問のご相談、および修理受付の窓口です。

製品の品質には万全を期しておりますが、万一不具合が生じた場合は、「テクニカルインフォメーションセンター」までご連絡ください。修理に関するご案内をさせていただきます。また修理が必要な場合は、お客様のお宅まで指定宅配便にて集荷にうかがいますので、まずお電話ください。

電話のおかけ間違いにご注意ください。

電話：　0564-62-4979
受付時間：　月～金曜日　午前9時～午後5時
（ただし、年末、年始、祝日を除く）

お電話される際に、本機の型名（ECM-MSD1）をお知らせください。
より迅速な対応が可能になります。

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川6-7-35

English

Main Features

This microphone can be used attached to a video camera recorder with a microphone jack and an accessory shoe*.
- The MS (Mid-Side) Stereo System enables a natural sound pick up, delivering a stereo sound image with superb clarity.
- The pick up pattern (affecting the soundstage width) can be set to 90° or 120° according to the sound source.

* By using the optional video accessory shoe VCT-55L, the microphone can be used with models without an accessory shoe.

Precautions

- The microphone is very sensitive. Do not drop, knock it, or subject it to excessive shock.
- Keep the microphone away from extremely high temperatures and humidity, especially, from the temperature above 60 ºC.
- If the microphone is placed near speakers, a howling effect (acoustic feedback) may occur. If this happens, place the microphone as far as possible from the speakers, or lower the volume of the speaker.
- If you change the pick up pattern switch setting of the microphone during recording, noise may occur.
- The battery check lamp lights up momentarily and soon goes out to save battery power. Be sure to switch off the microphone after use.

Before using the microphone

(see illustration A)

The button battery is already installed at the factory. Remove the insulation (a) inserted to avoid flattening the battery at shipment before using the microphone.

Replacing the button battery

(see illustration B)

1. Rotate the battery cover anticlockwise until it clicks and then detach it.
2. Insert a thin instrument through the opening (b) and prize the battery out. (Do not use a metal instrument as it may cause a short-circuit.)
3. Insert a new button battery with its ⊕ side facing outwards.
4. Replace the battery cover and rotate it clockwise until it clicks.

Replacement period of a battery

If the button battery has enough power, the battery check lamp flashes momentarily when the microphone is switched on. If the battery check lamp flashes dimly or does not flash at all, replace the battery with a new one.
The microphone is operational continuously for about 100 hours with the supplied Sony alkaline button battery LR44, and about 200 hours with the Sony silver oxide battery SR44. (Operating time varies depending on the usage conditions.)

Notes on battery

Mishandling of the battery may cause it to leak or rupture. Be sure to observe the following.
- Install the battery with the + and – correctly matching the ⊕ and ⊖ inside the battery compartment.
- Do not attempt to recharge the battery. It is not rechargeable.
- Remove the battery if the microphone is not to be used for a long period of time.

In case of battery leakage, wipe off any electrolyte in the battery compartment thoroughly before installing a new battery.
Keep the battery out of the reach of children to avoid them swallowing it accidentally. If swallowed, consult a doctor immediately.

Connecting to compliant equipment

(see illustrations C, D)

Attach the shoe adapter (c) to the accessory shoe of the video camera recorder (see illustration C). After making sure that the video camera recorder is switched off, connect the stereo L type mini plug to the microphone terminal of the video camera recorder (see illustration D).

Part names and their functions

(see illustrations E, F)

1 Wind Screen
Place on the microphone to reduce wind or breathing noise.

2 Battery check lamp
The battery check lamp flashes momentarily to indicate the state of the battery when the power/pick up pattern switch is turned from OFF to ON. When the battery check lamp flashes dimly or does not flash at all, replace the battery with a new one.

3 The power/pick up pattern switch
Decide the position according to the sound source.

ON	Switch on
OFF	Switch off
90°	When picking up a sound with a narrow soundstage, or a distant sound (conversation, solo instruments, etc.)
120°	When picking up a sound with a wide soundstage, or a nearby sound (concert, theatrical performance, etc.)

Refer to the above table as a rough standard.
Choose the position depending on your preference.

4 Battery cover

5 Shoe adapter

6 Stereo mini type L plug

7 Cord clamp
Fit the cord into the cord clamp.

Specifications

Type	MS (Mid-Side) stereo system
Microphone cord length	Approx. 28 cm (11 1/8 in.)
Power requirements	Button battery (LR44/SR44)
Battery life	(At room temperature) Approx. 100 hours (with an LR44 battery) (With an SR44 battery, approx. 200 hours)
Dimensions	Approx. 27 mm × 60.5 mm × 72.5 mm (1 1/8 × 2 1/2 × 2 7/8 in.) (excluding tab, rotation knob, cord)
Mass	Approx. 50 g (1.8 oz) (including the battery)
Supplied accessories	Wind Screen (1) Sony alkaline button battery LR44 (1) (installed on the microphone) Carrying pouch (1) Operating Instructions (1)
Directivity	Pick up pattern: 90° or 120°, 2-step switching (see illustration F)

Design and specifications are subject to change without notice.

Français

Principales caractéristiques

Ce microphone peut être utilisé sur un caméscope doté d'une prise microphone et d'une griffe porte-accessoires*.
- Le système stéréo MS (Mid-Side) permet d'obtenir des prises de son naturelles et une image stéréo sonore d'une extrême clarté.
- Le diagramme directionnel (conditionnant l'angle de prise du son) peut être réglé à 90° ou 120°, selon la source sonore.

* Lors de l'utilisation du porte-accessoires vidéo VCT-55L en option, le microphone peut être utilisé avec des appareils ne possédant pas de griffe porte-accessoires.

Précautions

- Le microphone est très fragile. Ne le laissez pas tomber, ne le cognez pas et ne le soumettez pas à un choc violent.
- N'exposez pas le microphone à des températures excessives ou à l'humidité, en particulier à une température excédant 60°C.
- Si le microphone se trouve à proximité de haut-parleurs, un effet Larsen (rétroaction acoustique) peut se produire. Dans ce cas, éloignez le microphone des haut-parleurs ou diminuez le volume des haut-parleurs.
- Des parasites peuvent être occasionnés si vous modifiez le réglage du commutateur du diagramme directionnel du microphone pendant un enregistrement.
- Le témoin d'usure de la pile s'allume brièvement puis s'éteint pour économiser l'énergie de la pile. Veillez à mettre le microphone hors tension après utilisation.

Avant d'utiliser le microphone

(voir illustration A)

La pile-bouton est installée en usine. Avant d'utiliser le microphone, retirez la pièce d'isolation (a) insérée pour éviter que la pile ne se décharge pendant le transport.

Remplacement de la pile bouton

(voir illustration B)

1. Faites tourner le couvercle de la pile dans le sens anti-horaire jusqu'au déclic puis retirez-le.
2. Insérez un instrument fin dans l'ouverture (b) et sortez la pile en faisant levier. (N'utilisez pas d'instrument en métal car vous risquez de provoquer un court-circuit.)
3. Insérez une nouvelle pile-bouton, avec le côté ⊕ vers l'extérieur.
4. Remettez le couvercle de la pile en place et faites-le tourner dans le sens horaire jusqu'au déclic.

Remplacement d'une pile

Si la pile bouton est suffisamment alimentée, le témoin de le témoin d'autonomie de la pile clignote un instant lorsque le microphone est activé. Si le témoin d'autonomie de la pile clignote faiblement ou ne clignote pas du tout, remplacez la pile.
Le microphone peut fonctionner en continu pendant environ 100 heures avec la pile bouton alcaline Sony LR44 fournie, et environ 200 heures avec la pile à oxyde d'argent Sony SR44. (La durée de fonctionnement varie en fonction des conditions d'utilisation.)

Remarques sur la pile

Une mauvaise manipulation de la pile peut entraîner une fuite ou un éclatement de celle-ci. Respectez bien les points suivants.
- Installez la pile en respectant la polarité.
- N'essayez pas de recharger la pile car il ne s'agit pas d'une pile rechargeable.
- Retirez la pile si le microphone ne doit pas être utilisé pendant une longue période.

En cas de fuite, essuyez toute trace d'électrolyte dans le compartiment à pile avant d'insérer une pile neuve.
Conservez la pile hors de portée des enfants pour éviter une ingestion. En cas d'ingestion, consultez immédiatement un médecin.

Raccordement à l'équipement conforme

(voir illustration C, D)

Fixez l'adaptateur (c) sur la griffe porte-accessoires du caméscope (voir illustration C). Après avoir vérifié que le caméscope est hors tension, raccordez la mini-fiche stéréo de type L sur la borne du microphone du caméscope (voir illustration D).

Désignation et fonction des pièces

(Voir illustration E, F)

1 Bonnette anti-vent
A placer le microphone pour réduire le bruit du vent ou de la respiration.

2 Témoin d'autonomie de la pile
Le le témoin d'autonomie de la pile clignote brièvement pour indiquer l'autonomie de la pile lorsque le commutateur du diagramme directionnel/d'alimentation passe de OFF à ON. Si le témoin d'usure de la pile clignote faiblement ou pas du tout, remplacez la pile par une pile neuve.

3 Interrupteur alimentation/diagramme directionnel
Choisissez la position en fonction de la source d'enregistrement.

ON	Mise sous tension
OFF	Mise hors tension
90°	Pour capter un son étroit ou éloigné (conversation, solo d'instruments de musique, etc.)
120°	Pour capter un son large ou proche (concert, pièce de théâtre, etc.)

Reportez-vous au tableau ci-dessus pour obtenir les standards approximatifs.
Choisissez la position en fonction de vos préférences.

4 Capot de la pile

5 Adaptateur de griffe

6 Minifiche stéréo coudée

7 Dispositif de fixation du cordon
Fixez le cordon au dispositif.

Spécifications

Type	Système stéréo MS (Mid-Side)
Longueur du cordon de microphone	Environ 28 cm (11 1/8 po.)
Alimentation	Pile bouton (LR44/SR44)
Autonomie de la pile	(à température ambiante) Environ 100 heures (avec une pile LR44) (Avec une pile SR44, environ 200 heures)
Dimensions	Environ 27 mm × 60,5 mm × 72,5 mm (1 1/8 × 2 1/2 × 2 7/8 po.) (onglet, bouton de rotation, cordon non compris)
Poids	Environ 50 g (1,8 on.) (pile comprise)
Accessoires fournis	Bonnette anti-vent (1) Pile bouton alcaline Sony LR44 (1) (installée sur le microphone) Etui (1) Instructions d'utilisation(1)
Directivité	Diagramme directionnel : 90°ou 120°, interrupteur à deux positions (voir illustration F)

La conception et les spécifications peuvent être modifiées sans avis préalable.

Deutsch

Für Kunden in Deutschland

Entsorgungshinweis: Bitte werfen Sie nur entladene Batterien in die Sammelboxen beim Handel oder den Kommunen. Entladen sind Batterien in der Regel dann, wenn das Gerät abschaltet und „Batterie leer" signalisiert oder nach längerer Gebrauchsdauer der Batterien „nicht mehr einwandfrei funktioniert". Um sicherzugehen, kleben Sie die Batteriepole z.B. mit einem Klebestreifen ab oder geben Sie die Batterien einzeln in einen Plastikbeutel.

Die wichtigsten Funktionen und Merkmale

Dieses Mikrofon lässt sich an eine Videokamera mit einer Mikrofonbuchse und einem Zubehörschuh* anbringen.
- Das MS-Stereosystem (Mitte-Seite) ermöglicht eine natürliche Tonaufnahme und erzeugt ein Stereoklangbild in außergewöhnlicher Qualität.
- Die Richtcharakteristik, die die Stereobasisbreite bestimmt, kann je nach Tonquelle auf 90° oder 120° eingestellt werden.

* Wenn Sie den gesondert erhältlichen Videozubehörschuh VCT-55L verwenden, können Sie das Mikrofon auch bei Modellen ohne Zubehörschuh einsetzen.

Zur besonderen Beachtung

- Das Mikrofon ist sehr empfindlich. Lassen Sie es nicht fallen und setzen Sie es keinen heftigen Stößen aus.
- Schützen Sie das Mikrofon vor extrem hohen Temperaturen (vor allem über 60 ºC) und hoher Luftfeuchtigkeit.
- Wenn das Mikrofon in der Nähe von Lautsprechern verwendet wird, kann es zu einer akustischen Rückkopplung (Heulton) kommen. Stellen Sie das Mikrofon in einem solchen Fall möglichst weit entfernt von den Lautsprechern auf. Oder verringern Sie die Lautstärke der Lautsprecher.
- Wenn Sie den Schalter für die Richtcharakteristik während der Aufnahme verstellen, kann es zu Störgeräuschen kommen.
- Die Batterieanzeige leuchtet kurz auf und erlischt nach kurzer Zeit, um die Batterie zu schonen. Schalten Sie das Mikrofon nach Gebrauch unbedingt aus.

Vorbereitungen

(siehe Abbildung A)

Werkseitig ist bereits eine Knopfbatterie eingelegt. Nehmen Sie die Isolierung (a) heraus, die verhindern soll, dass sich die Batterie entlädt, bevor das Mikrofon benutzt wird.

Austauschen der Knopfbatterie

(siehe Abbildung B)

1. Drehen Sie die Batteriefachabdeckung gegen den Uhrzeigersinn, bis ein Klicken zu hören ist. Nehmen Sie sie dann ab.
2. Führen Sie einen dünnen Gegenstand an der Öffnung (b) ein und drücken Sie die Batterie heraus. Verwenden Sie dazu keinen Metallgegenstand. Andernfalls kann es zu einem Kurzschluss kommen.
3. Legen Sie eine neue Knopfbatterie mit der Seite ⊕ nach außen weisend ein.
4. Bringen Sie die Batteriefachabdeckung wieder an und drehen Sie sie im Uhrzeigersinn, bis sie mit einem Klicken einrastet.

Wann muss die Batterie ausgetauscht werden?

Solange die Knopfbatterie stark genug ist, blinkt die Batterieanzeige kurz auf, wenn das Mikrofon eingeschaltet wird. Wenn die Batterieanzeige schwach oder gar nicht mehr blinkt, tauschen Sie die Batterie gegen eine neue aus.
Bei ununterbrochenem Mikrofonbetrieb beträgt die Lebensdauer der mitgelieferten Alkaliknopfbatterie LR44 von Sony etwa 100 Stunden und die einer Silberoxidbatterie SR44 von Sony etwa 200 Stunden. Die Lebensdauer hängt von den Betriebsbedingungen ab.

Hinweise zur Batterie

Bei unsachgemäßem Umgang kann die Batterie auslaufen oder bersten. Beachten Sie bitte folgende Hinweise.
- Legen Sie die Batterie so ein, dass + und – richtig an den Markierungen ⊕ und ⊖ im Batteriefach ausgerichtet sind.
- Versuchen Sie nicht, die Batterie aufzuladen. Dies ist nicht möglich.
- Wenn Sie das Mikrofon längere Zeit nicht benutzen wollen, nehmen Sie die Batterie heraus.

Falls die Batterie ausläuft, wischen Sie das Batteriefach zunächst sorgfältig trocken und legen Sie dann eine neue Batterie ein.
Bewahren Sie die Batterie außerhalb der Reichweite von Kindern auf, damit diese sie nicht versehentlich verschlucken. Sollte eine Batterie verschluckt werden, suchen Sie unverzüglich einen Arzt auf.

Anschließen an kompatible Geräte

(siehe Abbildung C, D)

Bringen Sie den Schuhadapter (c) am Zubehörschuh der Videokamera an (siehe Abbildung C). Vergewissern Sie sich zunächst, dass die Videokamera ausgeschaltet ist. Schließen Sie dann den L-förmigen Stereoministecker an den Mikrofonanschluss der Videokamera an (siehe Abbildung D).

Lage und Funktion der Teile und Bedienelemente

(siehe Abbildung E, F)

1 Windschutz
Zum Anbringen am Mikrofon, um Wind- oder Atemgeräusche zu verringern.

2 Batterieanzeige
Die Batterieanzeige blinkt kurz, um den Zustand der Batterie anzuzeigen, wenn der Netz- bzw. Richtcharakteristikschalter von OFF auf ON gedreht wird. Wenn die Batterieanzeige schwach oder gar nicht mehr blinkt, tauschen Sie die Batterie gegen eine neue aus.

3 Netz-/Richtcharakteristikschalter
Stellen Sie je nach Tonquelle die geeignete Position ein.

ON	Einschalten
OFF	Ausschalten
90°	Beim Aufnehmen von Tönen mit geringem Klangraum oder bei entfernter Tonquelle (Unterhaltung, Soloinstrumente usw.)
120°	Beim Aufnehmen von Tönen mit breitem Klangraum oder bei naher Tonquelle (Konzert, Theateraufführung usw.)

Die Tabelle oben bietet grobe Richtlinien.
Wählen Sie die Schalterposition nach Bedarf aus.

4 Batteriefachabdeckung

5 Schuhadapter

6 L-förmiger Stereoministecker

7 Kabelklemme
Setzen Sie das Kabel in die Kabelklemme ein.

Technische Daten

Typ	MS-Stereosystem (Mitte-Seite)
Mikrofonkabellänge	ca. 28 cm
Stromversorgung	Knopfbatterie (LR44/SR44)
Batterielebensdauer	(bei Raumtemperatur) ca. 100 Stunden (bei einer LR44-Batterie) (bei einer SR44-Batterie ca. 200 Stunden)
Abmessungen	ca. 27 mm × 60,5 mm × 72,5 mm (ohne Lasche, Drehknopf, Kabel)
Gewicht	ca. 50 g (einschließlich Batterie)
Mitgeliefertes Zubehör	Windschutz (1) Alkaliknopfbatterie LR44 von Sony (1) (in das Mikrofon eingelegt) Tragebeutel (1) Bedienungsanleitung (1)
Richtungswirkung	Richtcharakteristik: 90º oder 120º, 2-Stufen-Schaltung (siehe Abbildung F)

Änderungen, die dem technischen Fortschritt dienen, bleiben vorbehalten.

Español

Características principales

Este micrófono puede utilizarse conectándolo a una videocámara con toma de micrófono y una zapata para accesorios*.
- El sistema estéreo MS (medio-lateral) permite la captación de sonido natural, ofreciendo una imagen con sonido estéreo de excelente calidad.
- Patrón de captación de sonido (que afecta a la longitud del mismo) ajustable a 90° ó 120° en función de la fuente de sonido.

* Si utiliza la zapata para accesorios de vídeo opcional VCT-55L, el micrófono podrá utilizarse con modelos que no dispongan de zapata para accesorios.

Precauciones

- El micrófono es muy sensible. Procure no dejarlo caer ni golpearlo con fuerza.
- No utilice el micrófono en lugares con humedad y temperaturas muy elevadas, sobre todo temperaturas superiores a 60ºC.
- Es posible que se produzca un efecto de zumbido (reacción acústica) si coloca el micrófono cerca de altavoces. En tal caso, aléjelo todo lo posible de los altavoces o baje el volumen del altavoz.
- Si cambia el ajuste del selector de patrón de captación de sonido del micrófono durante la grabación, es posible que se produzca ruido.
- El indicador de comprobación de la pila se ilumina durante un instante y se apaga inmediatamente para ahorrar energía de la pila. Asegúrese de desconectar el micrófono después de utilizarlo.

Antes de utilizar el micrófono

(consulte la figura A)

La pila botón ya viene instalada de fábrica. Retire la protección (a) insertada para evitar que la pila quede aplastada durante el transporte antes de utilizar el micrófono.

Sustitución de la pila botón

(consulte la figura B)

1. Gire la tapa del compartimiento de la pila en el sentido contrario a las agujas del reloj hasta que oiga un "clic" y, a continuación, retírela.
2. Inserte un objeto delgado a través de la abertura (b) y extraiga la pila. (No utilice un objeto metálico, ya que podría provocar un cortocircuito.)
3. Inserte una nueva pila botón con la cara ⊕ mirando hacia afuera.
4. Vuelva a colocar la tapa del compartimiento de la pila y gírela en el sentido de las agujas del reloj hasta que encaje.

Duración de una pila

Si la pila botón dispone de carga suficiente, el indicador de comprobación de la pila parpadeará momentáneamente cuando el micrófono se encienda. Por el contrario, si el indicador emite una luz débil o no parpadea en absoluto, sustituya la pila por una nueva.
El micrófono puede utilizarse sin interrupción durante unas 100 horas con la pila botón alcalina suministrada LR44 de Sony, y durante unas 200 horas con la pila de óxido de plata SR44 de Sony. (El tiempo de funcionamiento varía en función de las condiciones de uso.)

Notas sobre la pila

Una mala manipulación de la pila podría provocar fugas o una rotura de la misma. Procure respetar las siguientes precauciones.
- Coloque la pila de modo que el polo + y – coincidan con la parte ⊕ y ⊖ del interior del compartimiento de la pila.
- No intente recargar la pila, ya que no es recargable.
- Extraiga la pila si no va a utilizar el micrófono durante un largo período de tiempo.

En caso de producirse una fuga en la pila, limpie a fondo cualquier electrolito del compartimiento de la pila antes de colocar una pila nueva.
Guarde la pila fuera del alcance de los niños para evitar que se las traguen accidentalmente. En tal caso, consulte a un médico inmediatamente.

Conexión a un equipo compatible

(consulte las figuras C y D)

Conecte el adaptador para zapata (c) a la zapata para accesorios de la videocámara (consulte la figura C). Una vez que ha comprobado que la videocámara está apagada, conecte la miniclavija estéreo de tipo L al terminal del micrófono de la videocámara (consulte la figura D).

Nombres de las piezas y sus funciones

(consulte las figuras E y F)

1 Espuma protectora
Colóquela en el micrófono para disminuir la emisión de ruidos provocados por el viento o la respiración.

2 Indicador de comprobación de la pila
El indicador de comprobación de la pila parpadea un instante para indicar el estado de la pila al cambiar el selector de alimentación o patrón de captación de sonido de OFF a ON. Cuando el indicador parpadee débilmente o no parpadee en absoluto, sustituya la pila por una nueva.

3 Selector de alimentación o patrón de captación de sonido
Decida la posición según la fuente de sonido.

ON	Encender
OFF	Apagar
90°	Al captar un sonido de poca intensidad o distante (una conversación, el sonido de un solo instrumento, etc.)
120°	Al captar un sonido de mucha intensidad o cercano (un concierto, una representación teatral, etc.)

Consulte la tabla anterior para obtener un valor estándar aproximado.
Elija la posición en función de sus preferencias.

4 Tapa de la pila

5 Adaptador de zapata

6 Miniclavija estéreo de tipo L

7 Abrazadera de cable
Haga pasar el cable por la abrazadera.

Especificaciones

Tipo	Sistema estéreo MS (medio-lateral)
Longitud del cable del micrófono	28 cm aproximadamente
Requisitos de alimentación	Pila botón (LR44/SR44)
Duración de la pila	(A temperatura ambiente) 100 horas aproximadamente (con una pila LR44) (Con una pila SR44, 200 horas aproximadamente)
Dimensiones	27 mm × 60,5 mm × 72,5 mm aproximadamente (sin incluir la pestaña, el mando rotatorio y el cable)
Peso	50 g aproximadamente (con la pila)
Accesorios suministrados	Espuma protectora (1) Pila botón alcalina LR44 de Sony (1) (colocada en el micrófono) Bolsa de transporte (1) Manual de instrucciones (1)
Directividad	Patrón de captación de sonido: 90º o 120º, interruptor de 2 pasos (consulte la figura F)

El diseño y las especificaciones están sujetos a cambio sin previo aviso.

Nederlands

Voor de klanten in Nederland

NL

Gooi de batterij niet weg maar lever deze in als klein chemisch afval (KCA).

Kenmerken

Deze microfoon is geschikt voor een videocamera met een microfoonaansluiting en een accessoireschoen*.
- Het MS (Mid-Side) Stereo System zorgt voor een natuurgetrouwe registratie van het geluid en levert een helder stereo-geluidsbeeld.
- Het registratiepatroon (dat de omvang van de opnamelocatie beïnvloedt) kan worden ingesteld op 90º of 120º, afhankelijk van de geluidsbron.

* Met de los verkrijgbare VCT-55L kan de microfoon worden gebruikt met modellen zonder accessoireschoen.

Voorzorgsmaatregelen

- De microfoon is erg gevoelig. Stel de microfoon niet bloot aan overmatige schokken, laat het product niet vallen en stoot er niet tegen aan.
- Stel de microfoon niet bloot aan vochtigheid en extreem hoge temperaturen, vooral temperaturen boven 60ºC.
- Als u de microfoon dichtbij de luidsprekers plaatst, kan nagalm (akoestische terugkoppeling) optreden. Als dit gebeurt, moet u de microfoon zo ver mogelijk bij de luidsprekers vandaan plaatsen of het volume van de luidspreker lager zetten.
- Als u de schakelaar van het registratiepatroon van de microfoon omzet tijdens de opname, kan er ruis ontstaan.
- Het controlelampje van de batterij wordt tijdelijk ingeschakeld en wordt daarna weer uitgeschakeld om batterijlading te sparen. Schakel na gebruik de microfoon uit.

Vóór gebruik van de microfoon

(zie afbeelding A)

De knoopcel is al in de fabriek geplaatst. Verwijder voordat u de microfoon gebruikt, het isolatiemateriaal (a) dat is toegevoegd om te vermijden dat de batterij wordt geplet tijdens het vervoer.

De knoopcel vervangen

(zie afbeelding B)

1. Draai het deksel van de batterijhouder linksom totdat dit klikt en verwijder het deksel.
2. Steek een dun voorwerp in de opening (b) en wrik de batterij uit de houder. (Gebruik geen metalen voorwerp omdat dit kortsluiting kan veroorzaken.)
3. Plaats een nieuwe knoopcel met de ⊕ zijde naar buiten gericht.
4. Plaats het deksel van de batterijhouder terug en draai het deksel rechtsom totdat dit vastklikt.

Levensduur van een batterij

Als de knoopcel nog voldoende stroom kan leveren, knippert het controlelampje van de batterij tijdelijk wanneer de microfoon wordt ingeschakeld. Als het controlelampje van de batterij zwak knippert of helemaal niet knippert, moet u de batterij vervangen.
Met de bijgeleverde Sony alkalineknoopcel LR44 kan de microfoon ongeveer 100 uur aaneengesloten functioneren en met de Sony zilveroxidebatterij SR44 ongeveer 200 uur. (De werkingstijd is afhankelijk van de gebruiksomstandigheden.)

Opmerkingen over de batterij

Als gevolg van onjuist handelen kan de batterij lekken of barsten. Houd rekening met de volgende punten.
- Plaats de batterij zodat de + en – polen samenvallen met de ⊕ en ⊖ aanduidingen in de batterijhouder.
- Laad de batterij niet op. Deze is niet oplaadbaar.
- Verwijder de batterij als u de microfoon gedurende langere tijd niet gebruikt.

Als er batterijlekkage optreedt, moet u de batterijhouder volledig reinigen voordat u een nieuwe batterij plaatst.
Houd de batterij buiten het bereik van kinderen om te voorkomen dat deze de batterij per ongeluk inslikken. Raadpleeg meteen een arts wanneer een batterij wordt ingeslikt.

Randapparatuur aansluiten

(zie afbeelding C, D)

Bevestig de schoenadapter (c) op de accessoireschoen van de videocamera (zie afbeelding C). Sluit, als de videocamera is uitgeschakeld, een L-vormige stereo mini-aansluiting aan op de microfoonaansluiting van de videocamera (zie afbeelding D).

Namen en functies van onderdelen

(zie afbeelding E, F)

1 Windkap
Plaats deze op de microfoon om geluiden als gevolg van wind en ademhaling te verminderen.

2 Controlelampje van de batterij
Het controlelampje van de batterij knippert tijdelijk om de lading van de batterij weer te geven wanneer de aan/uit/registratiepatroon-schakelaar wordt omgezet van OFF naar ON. Als het controlelampje van de batterij zwak knippert of helemaal niet knippert, moet u de batterij vervangen.

3 De aan/uit/registratiepatroonschakelaar
Bepaal de positie op basis van de geluidsbron.

ON	Inschakelen
OFF	Uitschakelen
90°	Voor het opnemen van geluiden met een kleine opnamelocatie of geluiden op afstand (gesprekken, solo-instrumenten, enzovoort)
120°	Voor het opnemen van geluiden met een omvangrijke opnamelocatie of geluiden van dichtbij (concert, theatervoorstelling, enzovoort)

Raadpleeg de bovenstaande tabel als een gemiddelde.
Bepaal de positie op basis van uw voorkeur.

4 Deksel van de batterijhouder

5 Schoenadapter

6 L-vormige stereo mini-aansluiting

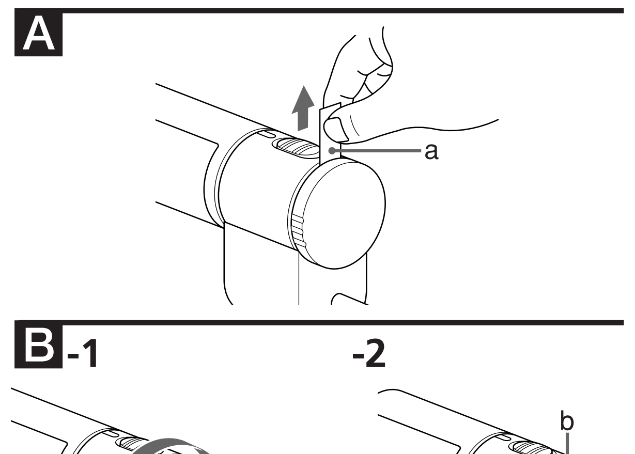
7 Snoerklem
Plaats het snoer in de snoerklem.

Technische gegevens

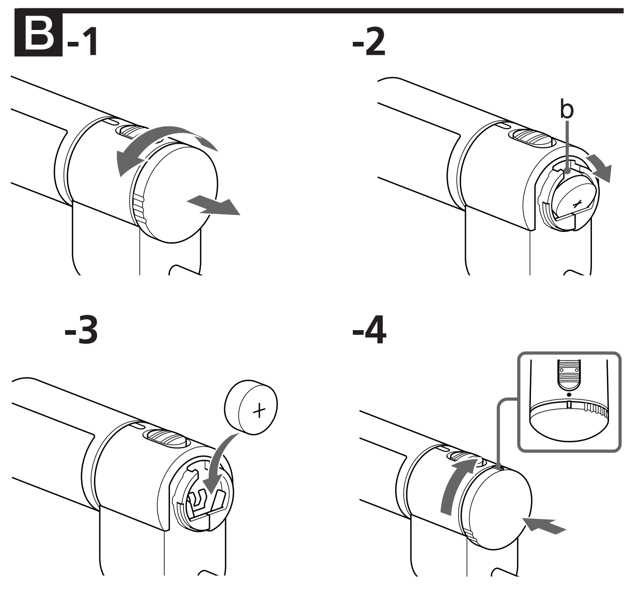
Type	MS (Mid-Side) stereo system
Lengte microfoonsnoer	Ongeveer 28 cm
Stroomvoorziening	Knoopcel (LR44/SR44)
Levensduur van de batterij	(Bij kamertemperatuur) Ongeveer 100 uur (met een LR44 batterij) (Met een SR44 batterij ongeveer 200 uur)
Afmetingen	Ongeveer 27 mm × 60,5 mm × 72,5 mm (exclusief tab, rotatieknop, snoer)
Gewicht	Ongeveer 50 g (inclusief batterij)
Bijgeleverde accessoires	Windkap (1) Sony alkalineknoopcel LR44 (1) (in de microfoon geïnstalleerd) Draagtasje (1) Gebruiksaanwijzing (1)
Gerichtheid	Registratiepatroon: 90º of 120º, 2-stap schakelen (zie afbeelding F)

Wijzigingen in ontwerp en technische gegevens voorbehouden, zonder kennisgeving.

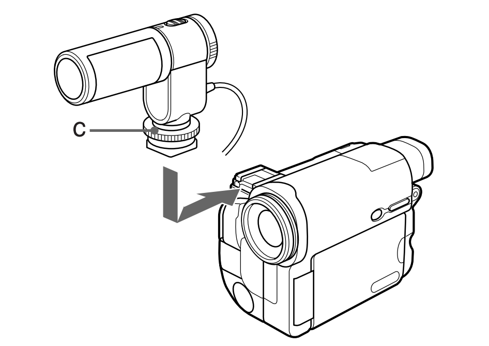
A



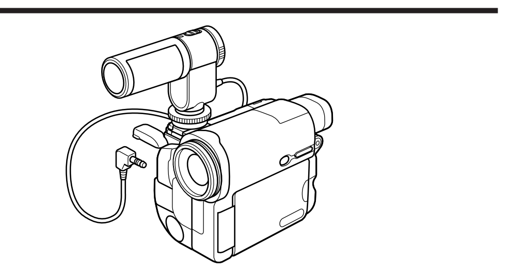
B



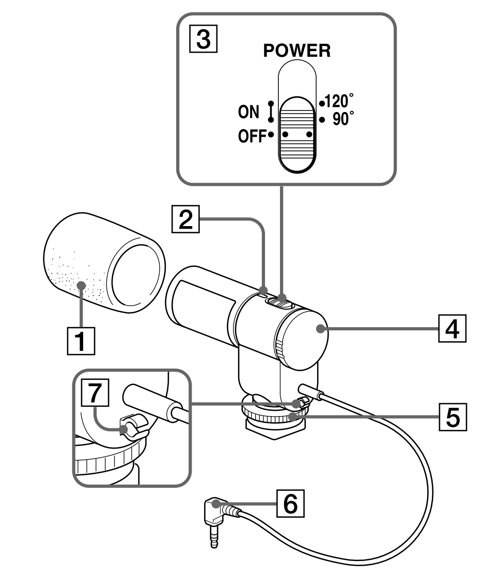
C



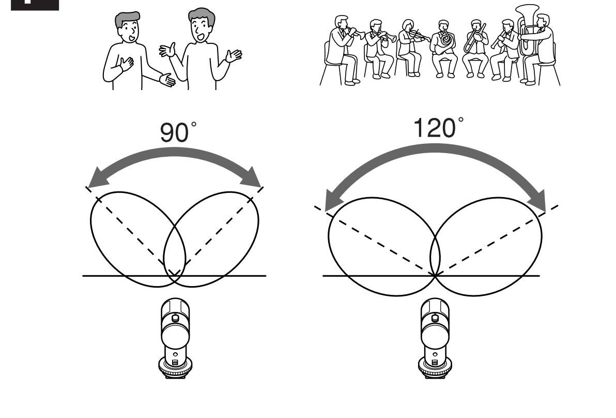
D



E



F



Изготовитель: Сони Корпорейшн
Адрес: 6-7-35 Киташинагава,
Шинагава-ку, Токио 141-0001, Япония
Страна-производитель: Япония

Svenska

Huvudfunktioner

Den här mikrofonen kan fästas och användas på en videokamera med en mikrofoningång och en tillbehörssko*.

- MS (MidSide)-stereosystemet ger en naturlig ljudupptagning i stereo med utmärkt ljudkvalitet.
- Upptagningsvinkeln (påverkar ljudbildens bredd) kan ställas in på antingen 90° eller 120° beroende på den ljudkälla du vill spela in.

* Genom att använda tillbehörsskon VCT-55L (köps separat) kan mikrofonen användas med modeller som saknar tillbehörssko.

Att observera

- Mikrofonen är mycket känslig. Tappa den inte, knacka inte på den eller utsätt den för starka stötar.
- Skydda mikrofonen för extrema temperaturer och extrem fuktighet, särskilt när temperaturen är över 60 ºC.
- Om mikrofonen placeras nära högtalare kan ibland ett ylande ljud uppstå (akustisk rundgång). Om detta inträffar flyttar du bort mikrofonen så långt som möjligt från högtalarna. Du kan också sänka ljudet från högtalarna.
- Om du under inspelning använder omkopplaren för att ändra upptagningsvinkeln kan du få med ljudstörningar i inspelningen.
- Kontrollampan för batterierna tänds, men för att spara batterierna slocknar den efter en liten stund. Stäng av mikrofonen när du har använt den färdigt.

Innan du börjar använda mikrofonen

(se ill. A)

Knappcellsbatteriet är installerat vid leverans från fabriken. Innan du använder mikrofonen tar du bort isoleringen (a) som skyddar batteriet under transporten.

Byta ut knappcellsbatteriet **(se ill. B)**

1. Vrid batteriskyddet moturs tills du hör ett klick och ta sedan bort det.
2. För in ett smalt verktyg i öppningen (b) och tryck ut batteriet. (Använd inte ett metallverktyg eftersom det kan leda till en kortslutning.)
3. Sätt i ett nytt knappcellsbatteri med sidan ⊕ riktad utåt.
4. Sätt tillbaka batteriskyddet och vrid det medurs tills det klickar på plats.

När är det dags att byta batteri?

Om knappcellsbatteriet har tillräckligt med ström blinkar batteriets kontrollampa till ett ögonblick när du slår på mikrofonen. Om batteriets kontrollampa blinkar svagt eller inte blinkar alls betyder det att det är dags att byta ut batteriet mot ett nytt.
Mikrofonen kan användas oavbrutet i ungefär 100 timmar med det medföljande Sony alkaliska knappcellsbatteri LR44, och ungefär 200 timmar med Sony silveroxidbatteri SR44. (Driftstiden varierar beroende på användningsförhållandena.)

Om batteriet

Hanterar du batteriet felaktigt kan det leda till att det börjar läcka eller spricker. Se till att du följer följande säkerhetsföreskrifter.

- Sätt i batteriet rättvänt, med + och – enligt markeringarna ⊕ och ⊖ i batterifacket.
- Försök inte ladda upp batteriet. Det är inte uppladdningsbart.
- Ta ur batteriet om du vet med dig att du inte kommer att använda mikrofonen under en längre tid.

Om du råkar ut för batteriläckage torkar du bort eventuell batterivätska i batterifacket innan du sätter i ett nytt batteri.
Håll batteriet utom räckhåll för barn; batteriet är litet och kan lätt sväljas. Kontakta genast en läkare om batteriet skulle sväljas.

Anslutning till kompatibel utrustning

(se ill. C och D)

Fäst skoadaptern (c) till tillbehörsskon på videokameran (se ill. C). Se till att videokameran är avstängd och anslut sedan stereominikontakten av L-typ till mikrofonterminalen på utrustningen, det kan t.ex. vara en videokamera eller liknande (se ill. D).

Delarnas namn och deras funktioner

(se ill. E och F)

1 **Puffskydd**
Sätt puffskyddet på mikrofonen om du vill minska ljudet från blåsten eller det puffljud som kan uppstå under tal.

2 **Kontrollampa för batteriet**
Batteriets kontrollampa blinkar en stund för att visa batteriets status när du vrider strömbrytaren/upptagningsvinkelomkopplaren från OFF till ON. Om batteriets kontrollampa blinkar svagt eller inte blinkar alls betyder det att det är dags att byta ut batteriet mot ett nytt.

3 **Strömbrytare/upptagningsvinkelomkopplare**
Välj position enligt ljudkällan.

ON	Slår på strömmen
OFF	Slår av strömmen
90°	När du tar upp ljud med liten utbredningsvinkel eller ljud på avstånd (konversation, soloinstrument eller liknande)
120°	När du tar upp ljud med stor utbredningsvinkel eller en näraliggande ljudkälla (vid en konsert, ett teaterframträdande eller liknande)

I ovanstående tabell finns tumregler.
Välj den position som passar dig bäst.

4 **Batteriskydd**

5 **Skoadapter**

6 **Stereo minikontakt av L-typ**

7 **Kabelklämma**
Passa in sladden i sladdhållaren.

Tekniska data

Typ	MS (Mid-Side)-stereosystem
Mikrofonkabelns längd	Ca. 28 cm
Strömförsörjning	Knappcellsbatteri (LR44/SR44)
Batterilivslängd	(Vid rumstemperatur) Ca. 100 timmar (med ett LR44-batteri) (Med ett SR44-batteri, ca 200 timmar)
Mått	Ca. 27 mm × 60,5 mm × 72,5 mm (exklusive skoning, vridratt, kabel)
Vikt	Ca. 50 g (inklusive batteri)
Medföljande tillbehör	Puffskydd (1) Sony alkaliska knappcellsbatteri LR44 (1) (installerat i mikrofonen) Bärväska (1) Bruksanvisning (1)
Upptagning	Upptagningsvinkel: 90º eller 120º, 2-stegsväxling (se ill. F)

Rätt till ändringar förbehålles.

Italiano

Caratteristiche principali

Questo microfono può essere utilizzato collegandolo ad una videocamera dotata di una presa microfono e un attacco accessori*.

- Il sistema stereo MS (Mid-Side) consente di cogliere l’audio in modo naturale e di fornire un’immagine audio stereo di nitidezza superiore.
- Il modello di cattura (che influisce sull'ampiezza dell'effetto sonoro) può essere impostato su 90° o 120°, in base alla sorgente audio.

* Mediante l'attacco accessori video VCT-55L opzionale, è possibile utilizzare il microfono con vari modelli senza il collegamento di un attacco accessori.

Precauzioni

- Il microfono è estremamente sensibile. Non lasciarlo cadere, batterlo o sottoporlo a urti eccessivi.
- Tenere il microfono lontano da temperature eccessive e umidità, in special modo temperature superiori a 60 ºC.
- Se il microfono si trova in prossimità dei diffusori, è possibile che si verifichi un effetto di ritorno acustico (feedback). In tal caso, collocare il microfono quanto più possibile distante dai diffusori oppure abbassare il volume del diffusore.
- Se durante la registrazione viene modificata l'impostazione dell'interruttore del modello di cattura del microfono, è possibile che si verifichino eventuali disturbi.
- La spia di controllo della pila si illumina momentaneamente e si spegne immediatamente per motivi di risparmio energetico. Dopo avere utilizzato il microfono, assicurarsi di spegnerlo.

Prima di utilizzare il microfono

(vedere l’illustrazione A)

La pila a bottone è preinstallata in fabbrica. Prima di utilizzare il microfono, rimuovere il materiale isolante (a) inserito per evitare che la pila si scarichi.

Sostituzione della pila a bottone

(vedere l’illustrazione B)

1. Ruotare il coperchio della pila in senso antiorario fino ad udire uno scatto, quindi rimuoverlo.
2. Inserire un utensile sottile nell'apertura (b), quindi estrarre la pila. Non utilizzare utensili metallici onde evitare di causare un cortocircuito.
3. Inserire una pila a bottone nuova con il lato ⊕ rivolto verso l'esterno.
4. Installare di nuovo il coperchio della pila facendolo ruotare in senso orario fino ad udire uno scatto.

Durata della pila

Se la pila a bottone è sufficientemente carica, la spia di controllo della pila lampeggia momentaneamente all'accensione del microfono. Se il lampeggiamento della spia è debole o se la spia non lampeggia affatto, sostituire la pila con una nuova.
Il microfono può essere utilizzato ininterrottamente per circa 100 ore con la pila a bottone alcalina Sony LR44 in dotazione e per circa 200 ore con la pila all'ossido d'argento Sony SR44 in dotazione.
L'autonomia di funzionamento varia in base alle condizioni d'uso.

Note sulla pila

Se la pila non viene utilizzata in modo corretto potrebbe causare perdite di elettrolita o problemi di funzionamento. Assicurarsi di osservare quanto riportato di seguito.

- Installare la pila rispettando la corretta corrispondenza tra i poli + e – della pila e i segni ⊕ e ⊖ dello scomparto della pila.
- Non tentare di ricaricare la pila. Non si tratta di una pila ricaricabile.
- Rimuovere la pila se il microfono non viene utilizzato per un periodo prolungato.

In caso di perdita di elettrolita, asciugare con cura lo scomparto della pila prima di inserirne una nuova.
Tenere la pila fuori dalla portata dei bambini onde evitare che la ingeriscano accidentalmente. Se ingerita, consultare immediatamente un medico.

Collegamento a un apparecchio compatibile **(vedere le illustrazioni C, D)**

Collegare l'attacco accessori (c) all'attacco accessori della videocamera (vedere l'illustrazione C). Dopo essersi assicurati che la videocamera sia spenta, collegare una minispina stereo di tipo L al terminale del microfono dell'apparecchio compatibile, quale una videocamera e così via (vedere l'illustrazione D).

Nomi e funzione delle parti

(vedere le illustrazioni E, F)

1 **Protezione anti-vento**
Collocare sul microfono per ridurre i disturbi causati dal vento o dal respiro.

2 **Spia di controllo della pila**
La spia di controllo della pila lampeggia momentaneamente ad indicare lo stato della pila se l'impostazione dell'interruttore di alimentazione/modello di cattura viene cambiata da OFF a ON. Se il lampeggiamento della spia è debole o se la spia non lampeggia affatto, sostituire la pila con una nuova.

3 **Interruttore di alimentazione/modello di cattura**
Impostare la posizione in base alla sorgente audio.

ON	Accensione
OFF	Spegnimento
90°	Durante la cattura di un suono con un effetto sonoro ristretto o di un suono distante (conversazioni, assoli strumentali e così via)
120°	Durante la cattura di un suono con un effetto sonoro ampio o di un suono vicino (concerti, spettacoli teatrali e così via)

Per uno standard approssimativo, fare riferimento alla tabella indicata.
Selezionare la posizione in base alle preferenze.

4 **Coperchio della pila**

5 **Adattatore per attacco**

6 **Minispina stereo tipo L**

7 **Morsetto per cavo**
Sistemare il cavo nell'apposito morsetto.

Caratteristiche tecniche

Tipo	Sistema stereo MS (Mid-Side)
Lunghezza del cavo del microfono	circa 28 cm
Requisiti di alimentazione	Pila a bottone (LR44/SR44)
Durata della pila	(a temperatura ambiente) circa 100 ore (con una pila LR44) (con una pila SR44, circa 200 ore)
Dimensioni	circa 27 mm × 60,5 mm × 72,5 mm (esclusi linguetta, manopola di rotazione, cavo)
Peso	circa 50 g (pila inclusa)
Accessori in dotazione	Protezione anti-vento (1) Pila a bottone alcaline Sony LR44 (1) (installata nel microfono) Custodia di trasporto (1) Istruzioni per l'uso (1)
Direttività	Modello di cattura: 90º o 120º, selezione di 2 punti (vedere l'illustrazione F)

Il design e le caratteristiche tecniche sono soggetti a modifiche senza preavviso.

Português

Funções principais

Pode montar este microfone numa câmara de vídeo com uma base para acessórios e uma tomada para microfone*.

- O sistema estéreo MS (Mid-Side) permite captar um som natural, fornecendo uma imagem de som estéreo de grande nitidez.
- O padrão de captação (que afecta a amplitude do som) pode ser programado para 90° ou 120° em função da fonte de som.

* Se utilizar a base para acessórios VCT-55L opcional, pode instalar o microfone nos modelos sem base para acessórios.

Precauções

- O microfone é muito sensível. Não o deixe cair nem o sujeite a choques excessivos.
- Não utilize o microfone em locais com temperaturas e humidade altas, sobretudo acima de 60 ºC.
- Se colocar o microfone perto de altifalantes, pode ouvir um som agudo (feedback acústico). Se isso acontecer, afaste o microfone o máximo possível dos altifalantes ou baixe o volume destes últimos.
- Se mudar a programação do interruptor do padrão de captação do microfone durante a gravação, pode provocar ruído.
- O indicador de verificação da pilha acende-se, por momentos, e apaga-se para poupar a pilha. Desligue o microfone depois de o utilizar.

Antes de utilizar o microfone

(Consulte a ilustração A)

A pilha redonda já vem instalado de fábrica. Antes de utilizar o microfone, retire o material isolante (a) colocado na fábrica, para evitar que a pilha fique deformada.

Substituir a pilha redonda

(Consulte a ilustração B)

1. Rode a tampa da pilha, no sentido contrário ao dos ponteiros do relógio, até ouvir um clique e retire-a.
2. Introduza um instrumento fino através da abertura (b) e puxe a pilha para fora. (Não utilize um instrumento de metal pois pode provocar um um curto-circuito.
3. Coloque a nova pilha redonda com o lado ⊕ virado para fora.
4. Volte a colocar a tampa da pilha e rode, no sentido dos ponteiros do relógio, até ouvir um estalido.

Substituição da pilha

Se a pilha redonda tiver energia suficiente, o indicador de verificação da pilha pisca durante um momento quando se liga o microfone. Se o indicador de verificação da pilha piscar pouco ou mesmo nada, substitua a pilha.
O microfone pode funcionar continuamente durante cerca de 100 horas com a pilha de óxido de prata LR44 da Sony, fornecida. e cerca de 200 horas com a pilha de óxido de prata SR44 da Sony. (O tempo de funcionamento varia com as condições de utilização).

Notas sobre as pilhas

O manuseamento incorrecto da pilha pode provocar o derramamento do electrólito ou explosão. Tenha em atenção o seguinte.

- Instale a pilha fazendo corresponder correctamente os pólos + e – com as marcas ⊕ e ⊖ existentes no interior do compartimento da pilha.
- Não tente recarregar a pilha. Esta pilha não é recarregável.
- Retire a pilha se não vai utilizar o microfone durante algum tempo.

Se houver derramamento da pilha, limpe bem o electrólito do compartimento da pilha antes de colocar uma nova.
Mantenha a pilha fora do alcance de crianças para evitar que a engulam acidentalmente. Se isso acontecer, consulte imediatamente um médico.

Ligar a um equipamento compatível

(Consulte as ilustrações C, D)

Monte o adaptador da base para acessórios (c) na base respectiva da câmara de vídeo (consulte a figura C). Depois de se certificar que a câmara de vídeo está desligada,ligue uma minificha estéreo tipo L ao terminal para microfone da câmara de vídeo (consulte a figura D).

Nomes das peças e funções

(Consulte a ilustração E, F)

1 **Protecção contra o vento**
Coloque o microfone de maneira a reduzir o ruído do vento e da respiração.

2 **Indicador de verificação da pilha**
O indicador de verificação da pilha pisca, por momentos, para indicar o estado da pilha quando mudar o interruptor de captação/ligação da posição OFF para ON. Quando o indicador de verificação da pilha piscar com uma luz fraca ou deixar de piscar, substitua a pilha por uma nova.

3 **Interruptor de ligação/padrão de captação**
Escolha a posição de acordo com a fonte de som.

ON	Ligar
OFF	Desligar
90°	Se captar um som com uma amplitude reduzida, ou um som distante (conversa, instrumentos a solo, etc.)
120°	Se captar um som com uma grande amplitude, ou um som próximo (concerto, teatro, etc.)

Consulte os valores aproximados na tabela acima.
Escolha a posição de acordo com as suas preferências.

4 **Tampa da pilha**

5 **Adaptador da base para acessórios**

6 **Minificha estéreo tipo L**

7 **Grampo para cabo**
Prenda o cabo ao grampo respectivo.

Especificações

Tipo	Sistema estéreo MS (Mid-Side)
Comprimento do cabo do microfone	Aprox. 28 cm
Requisitos de corrente	Pilha redonda (LR44/SR44)
Vida útil da pilha	(À temperatura ambiente) Aprox. 100 horas (pilha LR44) (A pilha SR44 dura cerca de 200 horas)
Dimensões	Aprox. 27 mm × 60,5 mm × 72,5 mm (excluindo a patilha, o botão rotativo e o cabo)
Peso	Aprox. 50 g (incluindo a pilha)
Acessórios fornecidos	Protecção contra o vento (1) Pilha redonda alcalina da Sony LR44 (1) (instalada no microfone) Bolsa de transporte (1) Manual de instruções (1)
Direccionamento	Padrão de captação de som: 90º ou 120º, alternar em 2 passos (Consulte a ilustração F)

Design e especificações sujeitos a alterações sem aviso prévio.

Русский

Основные функции

Это микрофон можно использовать вместе с видеокамерой, оснащенной гнездом для микрофона и держателем для вспомогательных принадлежностей*.

- Стереосистема типа MS (Mid-Side) обеспечивает снятие естественного звука, что обеспечивает стереозвучание превосходного качества.
- Для режима звукоснимателя (влияющего на ширину звукового поля) может быть установлено значение 90° или 120° в зависимости от источника звука.

* При использовании держателя для вспомогательных принадлежностей видеокамеры VCT-55L микрофон можно использовать для моделей, не оборудованных держателем для вспомогательных принадлежностей.

Меры предосторожности

- Микрофон - это очень чувствительное устройство. Не роняйте, не ударяйте и не допускайте сильных сотрясений микрофона.
- Не подвергайте микрофон воздействию высоких температур и влажности, особенно температур, превышающих 60°С.
- Если микрофон находится рядом с громкоговорителями, может возникать эффект акустической обратной связи. В этом случае разметите микрофон как можно дальше от громкоговорителей или уменьшите их громкость.
- При изменении положения переключателя режима звукоснимателя во время записи может возникнуть шум.
- Индикатор проверки батарейки загорится ненадолго и вскоре погаснет для экономии энергии. Обязательно выключайте микрофон после использования.

Перед использованием микрофона

(см. рис. A)

Батарейка типа “таблетка” уже установлена на заводе. Перед использованием микрофона удалите изоляцию, вставленную с целью предотвращения деформации батарейки.

Замена батарейки типа “таблетка”

(см. рис. B)

1. Поверните крышку батарейки против часовой стрелки до щелчка и снимите ее.
2. Вставьте тонкий инструмент в отверстие (b) и извлеките батарейку. (Не используйте металлические инструменты, так как это может привести к короткому замыканию.)
3. Вставьте новую батарейку типа “таблетка” стороной ⊕ наружу.
4. Снова установите крышку батарейки и поверните ее по часовой стрелке до щелчка.

Периодичность замены батарейки

Если батарейка имеет достаточный заряд, индикатор проверки батарейки кратковременно мигает после включения микрофона. Если индикатор проверки батарейки мигает тусклым светом или не мигает, замените батарейку.
Продолжительность непрерывной работы микрофона составляет приблизительно 100 часов с прилагаемой батарейкой Sony LR44 (щелочная, типа “таблетка”) и 200 часов - с батарейкой Sony SR44 (оксид серебра). (Время работы может варьироваться в зависимости от условий использования.)

Примечания о батарейке

Неправильное использование батарейки может привести к ее утечке или образованию на ней трещин. Соблюдайте следующие инструкции.

- Устанавливайте батарейку таким образом, чтобы ее контакты + и - правильно соответствовали контактам ⊕ и ⊖ внутри отсека для батареек.
- Не пытайтесь перезаряжать батарейку. Она не является перезаряжаемой батарейкой.
- Если микрофон не используется в течение длительного времени, извлеките батарейку.

В случае утечки батарейки тщательно вытрите электролит в отсеке для батареек перед установкой новой батарейки.
Храните батарейку в недоступном для детей месте, чтобы они случайно не проглотили ее. Если батарейка будет случайно проглочена, немедленно обратитесь к врачу.

Подключение к совместимому оборудованию **(см. рис. C, D)**

Подсоедините переходник для держателя (с) к держателю для вспомогательных принадлежностей видеокамеры (см. рис. C). Убедившись, что видеокамера выключена, подключите L-образный мини-стереоштекер к разъему микрофона на видеокамере (см. рис. D).

Название деталей и их назначение

(см. рис. E, F)

1 **Ветровой экран**
Прикрепляется к микрофону, чтобы уменьшить шум ветра или дыхания.

2 **Индикатор проверки батарейки**
Индикатор проверки батарейки мигает некоторое время, указывая на состояние батарейки, когда переключатель питания/режима звукоснимателя перемещается из положения OFF в положение ON. Если индикатор проверки батарейки мигает тусклым светом или не мигает, замените батарейку.

3 **Переключатель питания/режима звукоснимателя**
Определите положение в зависимости от источника звука.

ON	Включен
OFF	Выключен
90°	При снятии звука с узким звуковым полем или источником звука, расположенном на большом расстоянии (диалог, отдельные инструменты и т.д.)
120°	При снятии звука с широким звуковым полем или источником звука, расположенном на небольшом расстоянии (концерт, театральное представление и т.д.)

Приблизительные стандарты можно найти в таблице выше.
Выберите требуемое положение.

4 **Крышка батарейки**

5 **Переходник для держателя**

6 **L-образный мини-стереоштекер**

7 **Зажим для кабеля**
Вставьте провод в соответствующий зажим.

Технические характеристики

Тип	Стереосистема типа MS (Mid-Side)
Длина кабеля микрофона	Прибл. 28 см
Требования к источнику питания	Батарейка типа “таблетка” (LR44/SR44) (оксид серебра)
Продолжительность работы от батареек	(При комнатной температуре) Прибл. 100 часов (с батарейкой LR44) (С батарейкой SR44 - прибл. 200 часов)
Размеры	Прибл. 27 мм × 60,5 мм × 72,5 мм (исключая петлю, поворотную ручку, кабель)
Масса	Прибл. 50 г (вместе с батарейкой)
Входящие в комплект принадлежности	Ветровой экран (1) Щелочная батарейка Sony типа “таблетка” LR44 (1) (установлена в микрофоне) Пакет для переноски (1) Инструкция по эксплуатации (1)
Направленность	Режим звукоснимателя: 90° или 120°, 2-ступенчатый переключатель (см. рис. F)

Конструкция и характеристики могут изменяться без предварительного уведомления.

中文

僅適用於台灣

廢電池請回收

主要功能

本麥克風可置於一台帶麥克風插孔和附件滑軌*的攝影機上。

- MS (Mid-Side) 立體聲系統能拾取自然聲響，傳送超清晰的立體聲影像。
- 可根據聲源設置拾音模式（影響音場寬度）至 90° 或 120° 。

* 對於使用可選的附件滑軌 VCT-55L，該麥克風可被用於不帶附件滑軌的機型。

注意事項

- 該麥克風非敘靈敏。不要跌落、敲擊，或受到強烈震動。
- 要使麥克風遠離極端高溫和潮濕，特別是溫度超過 60 ºC 的地方。
- 如果麥克風放置於揚聲器旁，就可能會產生嘯叫聲（聲學反饋）。如果發生這種情況，就要將麥克風放置於遠離揚聲器的地方，或者降低揚聲器的音量。
- 如果在錄音時改變拾音模式開關的設置，就可能產生噪音。
- 電池指示燈即刻亮起並馬上熄滅以詳省電源。要確保在使用後關閉麥克風。

使用麥克風之前

(參見圖 A)

出廠前已經安裝了鈕扣電池。在使用麥克風之前，要取出在運輸過程中爲了防止電池被壓而插入的絕緣物 (a) 。

更換鈕扣電池

(參見圖 B)

1. 逆時針轉動電池蓋直至其發出喀嗒聲後將其卸下。
2. 從開口處 (b) 插入一薄型工具將電池撬出。（由於會造成短路，所以不要使用金屬工具。）
3. 按 ⊕ 面朝外的方向插入新電池。
4. 重新蓋上電池蓋並順時針轉動直至其發出喀嗒聲。

電池更換周期

如果電池電量充足，電池指示燈會在打開麥克風時即刻閃爍。如果電池指示燈只是微弱的閃爍或者是根本不閃，請更換新電池。
使用配備的 Sony LR44 鹼性鈕扣電池該麥克風可連續工作 100 小時，使用 Sony SR44 氧化銀電池則可使用約 200 小時。（操作時間根據使用條件而改變。）

關於電池注意事項

違反電池操作規定會導致其泄漏或破裂。確保遵守以下規定。

- 將電池的 + 極和 – 極正確對準電池槽內的 ⊕ 和 ⊖ 標誌裝入電池。
- 不要試圖將電池充電。其不可充電。
- 如果長時間不使用麥克風，要將電池取出。

万一電池泄漏，在安裝新電池之前要徹底除去電池槽中的電解液。
要將電池放在小孩拿不到的地方以防止意外的吞食。如果發生吞食，請馬上就醫。

連接相容器材

(參見圖 C, D)

將滑軌轉接器 (c) 連接到攝影機的附件滑軌上（參見圖 C）。在確定攝影機處於關閉狀態後，連接立體聲L型迷你插頭至攝影機的麥克風端子（參見圖 D）。

部件名稱及其功能

(參見圖 E, F)

1 **擋風套**
套在麥克風上以減小風和呼吸的噪音。

2 **電池指示燈**
當電源/拾音模式開關從 OFF 切換到 ON 時，電池指示燈即刻閃爍以顯示電池狀態。當電池指示燈只是微弱的閃爍或者是根本不閃時，請更換新電池。

3 **電源/拾音模式開關**
根據聲源確定位置。

ON	打開
OFF	關閉
90°	當拾取一個窄音場的聲音，或者是一個遠處的聲音（談話，樂器獨奏等）時
120°	當拾取一個寬音場的聲音，或者是一個近處的聲音（音樂會，劇院演出等）時

參照上表爲一個大致的標準。
根據個人偏好選擇位置。

4 **電池蓋**

5 **滑軌轉接器**

6 **立體聲 L 型迷你插頭**

7 **線夾**
將電線固定在線夾中。

規格

類型	MS (Mid-Side) 立體聲系統
麥克風導線長度	大約 28 cm
電源要求	鈕扣電池 (LR44/SR44)
電池壽命	（處於室溫）大約 100 小時 （使用 LR44 電池） （使用 SR44 電池，大約 200 小時）
尺寸	大約 27 mm × 60.5 mm × 72.5 mm （不包括接頭、旋鈕、電線）
質量	大約 50 g （包括電池）
配備的附件	擋風套 (1) Sony LR44 鹼性鈕扣電池 (1) （安裝在麥克風上） 便攜袋 (1) 使用說明書 (1)
方向性	拾音模式： 90° 或 120°， 2 級切換 （參見圖 F）

設計和規格如有改變，恕不另行通知。

한국어

주요 특징

본 마이크는 마이크 단자 및 액세서리 슈*가 있는 비디오 카메라 레코더에 장착하여 사용할 수 있습니다.

- MS (Mid-Side) 스트레오 방식으로 스트레오 사운드 이미지를 선명하게 전송하여 소리를 자연스럽게 내보냅니다.
- 음원에 따라 픽업 패턴(사운드스테이지 폭에 영향을 받음)은 90° 또는 120° 설정할 수 있습니다.

* 비디오 액세서리 슈 VCT-55L(선택 사양)을 사용하면 액세서리 슈가 없는 모델에서도 이 마이크를 사용할 수 있습니다.

주의사항

- 마이크는 충격에 약합니다. 떨어뜨리거나 두드리거나 심한 충격을 가하지 마십시오.
- 마이크를 고온 다습한 장소, 특히 60 ºC 이상의 온도에서 보관하지 마십시오.
- 마이크가 스피커 옆에 있는 경우 윙윙거리는 현상(소리의 되울림)이 발생할 수 있습니다. 이러한 경우 마이크를 스피커에서 최대한 멀리 두거나 스피커의 볼륨을 낮춥니다.
- 녹음 중에 픽업 패턴 스위치 설정을 변경하면 노이즈가 발생할 수 있습니다.
- 배터리 확인등은 배터리를 절약하기 위해 잠깐 동안만 불이 들어 온 다음 다시 꺼집니다. 마이크를 사용한 후에는 반드시 전원을 꺼 주십시오.

마이크를 사용하기 전에

(그림 A 참조)

버튼 배터리는 기본적으로 설치되어 있습니다. 제품 출하 시 배터리를 보호하기 위해 장착된 절연체(a)를 빼낸 다음 마이크를 사용하십시오.

버튼 배터리 교체

(그림 B 참조)

1. 배터리 커버를 찰깍 소리가 날 때까지 반시계 방향으로 돌려 분리합니다.
2. 배터리가 있는 홈(b)에 얇은 도구를 넣어 배터리를 들어 올립니다. (단락이 발생할 수 있으므로 금속 기구는 사용하지 마십시오.)
3. ⊕ 면이 밖을 향하도록 하여 새 버튼 배터리를 삽입합니다.
4. 커버를 덮고 찰깍 소리가 날 때까지 시계 방향으로 돌립니다.

배터리 교체 시간

버튼 배터리에 전원이 충분하면 마이크를 켰을 때 배터리 확인등에 일시적으로 불이 들어옵니다. 배터리 확인등의 불이 흐리거나 전혀 켜지지 않으면 새 배터리로 교체하십시오.
본 마이크는 Sony 알카라인 버튼 전지 LR44로 약 100시간, Sony 실버 옥시드 SR44로 약 200시간 지속적으로 작동합니다. 배터리의 사용 환경에 따라 작동 시간이 다를 수 있습니다.

배터리 사용 시 주의 사항

배터리를 잘못 다루면 배터리에서 누액이 새거나 파열될 수 있습니다. 다음 사항을 준수하십시오.

- 배터리의 양극과 음극을 배터리 꽂이 안쪽의 +/– 표시에 맞춰서 넣어 주십시오.
- 배터리를 재충전하지 마십시오. 충전용 배터리가 아닙니다.
- 장시간 배터리를 사용하지 않는 경우 마이크에서 배터리를 빼십시오.

배터리에서 누액이 샌 경우 새 배터리를 설치하기 전에 배터리 꽂이에 묻은 전해액을 깨끗하게 닦아내십시오.
어린이들이 배터리를 삼키는 사고가 발생하지 않도록 어린이 손이 닿지 않는 곳에 배터리를 보관하십시오. 사고로 배터리를 삼켰을 때에는 즉시 의사에게 진단을 받으십시오.

호환 기기에 연결하기

(그림 C, D 참조)

슈 어댑터(c)를 비디오 카메라 레코더의 액세서리 슈에 부착합니다. (그림 C 참조) 비디오 카메라 레코더의 전원을 끈 상태에서 스트레오 L형 미니 플러그를 비디오 카메라 레코더의 마이크 단자에 연결합니다.(그림 D 참조)

부품 이름 및 기능

(그림 E, F 참조)

1 **윈드 스크린**
윈드 스크린을 마이크에 부착하면 바람 또는 숨소리를 줄일 수 있습니다.

2 **배터리 확인등**
전원/픽업 패턴 스위치를 OFF 에서 ON 으로 켤 때 배터리의 상태를 표시하기 위해 배터리 확인등에 잠시 불이 켜집니다. 배터리 확인등의 불이 흐리거나 전혀 켜지지 않으면 새 배터리로 교체하십시오.

3 **전원/픽업 패턴 스위치**
음원에 따라 위치를 결정합니다.

ON	전원 켜짐
OFF	전원 꺼짐
90	대화, 독주 등과 같이 좁은 사운드스테이지 또는 원거리 음으로 소리를 잡아내는 경우
120	콘서트, 연극 공연 등과 같이 넓은 사운드스테이지 또는 근거리 음으로 소리를 잡아내는 경우

위의 표는 대략적인 수치입니다.
필요에 따라 원하는 수치를 선택하십시오.

4 **배터리 커버**

5 **슈 어댑터**

6 **스트레오 L형 미니 플러그**

7 **코드 클램프**
코드를 코드 클램프에 끼웁니다.

주요 제원

종류	MS(Mid-Side) 스트레오 방식
마이크 코드 길이	약 28 cm
전원 요구 사항	버튼 배터리(LR44/SR44)
배터리의 수명	실내 온도에서 LR44 배터리의 경우 약 100 시간, SR44 배터리의 경우 약 200 시간
크기	약 27 mm × 60.5 mm × 72.5 mm (탭, 회전 손잡이, 코드 제외)
무게	약 50 g (배터리 포함)
부속품	윈드 스크린 (1) Sony 알카라인 버튼 전지 LR44 (1) (마이크에 장착되어 있음) 휴대 주머니 (1) 사용 설명서 (1)
지향성	픽업 패턴: 90° 또는 120°, 2 단계 스위칭 (그림 F 참조)

디자인 및 주요 제원은 사전 통보 없이 변경될 수 있습니다.

عربي

الخصائص المميّزة الرئيسية

هذا المايكروفون يمكن إستعماله مركّباً على كاميرا فيديو تتضمن قابس مايكروفون وقاعدة كماليات*.

- نظام ستيريو MS (منتصف الجانب) يتيح إمكانية إلتقاط الصوت بشكل طبيعي لإخراج صوت ستيريو فائق الوضوح.
- نمط الإلتقاط (الذي يؤثر على اتساع مجال الصوت) يمكن ضبطه على ٩٠ درجة أو ١٢٠ درجة تبعاً لمصدر الصوت.

* بإستعمال قاعدة كماليات الفيديو الإختيارية VCT-55L ، يمكن إستعمال المايكروفون مع الموديلات التي لا تتضمن قاعدة كماليات.

تنبيهات إحتياطية

- المايكروفون شديد الحساسية. لا تتسبب في سقوطه أو طرقه أو تعريضه لصدمة قوية.
- إحتفظ بالمايكروفون بعيداً عن درجات الحرارة والرطوبة الشديدتي الإرتفاع، وخاصة درجات الحرارة التي تزيد عن ٦٠ درجة مئوية.
- إذا تم وضع المايكروفون قرب السماعات، فقد يصدر صوت صفير (تغذية رجعية صوتية). إذا حدث ذلك، ضع المايكروفون أبعد ما يمكن عن السماعات أو قم بخفض مستوى صوت السماعة.
- إذا قمت بتغيير تهيئة مفتاح نمط الإلتقاط الخاص بالمايكروفون أثناء التسجيل فقد تصدر ضوضاء.
- يضيء مصباح التحقق من البطارية لحظياً وسرعان ما ينطفىء للإقتصاد في إستهلاك طاقة البطارية. تأكد من إيقاف المايكروفون بعد الإستعمال.

قبل إستعمال المايكروفون

(راجع الشكل التوضيحي A)

البطارية القرصية تم تركيبها بينما كانت الوحدة في المصنع. إنزع العازل (a) المستخدم لتفادي تفريغ شحنة البطارية أثناء الشحن قبل إستعمال المايكروفون.

إستبدال البطارية القرصية

(راجع الشكل التوضيحي B)

1. أدر غطاء البطارية بعكس إتجاه عقارب الساعة إلى أن تصدر عنه طقة ثم إنزعه.
2. أدخِل أداة رقيقة عبر الفتحة (b) وإدفع طرف البطارية لإخراجها. (لا تستعمل أداة معدنية لئلا تتسبب في حدوث تماس كهربائي.)
3. أدخِل بطارية قرصية جاعلاً الجانب الموجب ⊕ متجهاً نحو الخارج.
4. أعِد تركيب غطاء البطارية وأدره بإتجاه عقارب الساعة إلى أن تصدر عنه طقة.

فترة إستبدال البطارية

إذا كانت شحنة البطارية القرصية كافية فسيومض مصباح التحقق من البطارية لحظياً عند تشغيل المايكروفون. إذا كان مصباح التحقق من البطارية يومض وميضاً خافتاً أو لا يومض البتة، إستبدل البطارية بأخرى جديدة.
يعمل المايكروفون بشكل مستمر لمدة ١٠٠ ساعة تقريباً بإستعمال البطارية القرصية القلوية المرفقة LR44 من طراز Sony، ولمدة ٢٠٠ ساعة تقريباً بإستعمال بطارية أوكسيد الفضة SR44 من طراز Sony. (تتفاوت مدة التشغيل تبعاً لظروف الإستعمال.)

ملاحظات حول البطارية

سوء إستعمال البطارية يمكن أن يتسبب في تسرّب سائلها أو كسرها. تأكد من مراعاة الآتي.

- قم بتركيب البطارية بحيث تكون العلامات + و – مطابقة للعلامات ⊕ و ⊖ داخل حجيرة البطارية.
- لا تحاول أن تشحن البطارية. البطارية غير قابلة للشحن.
- إنزع البطارية إذا كان المايكروفون سيظل دون إستعمال لمدة زمنية طويلة.

في حالة حدوث تسرّب من البطارية، إمسح أي قدر من المحلول الإليكتروليتي متسرّب في حجيرة البطارية لإزالته تماماً قبل تركيب بطارية جديدة.
إحتفظ بالبطارية بعيداً عن متناول الأطفال وذلك لتجنّب قيامهم بإبتلاعها بطريق الخطأ. إذا تم إبتلاع البطارية، قم بإستشارة طبيب على الفور.

التوصيل بجهاز متوافق

(راجع الشكلين التوضيحيين C و D)

قم بتركيب محوّل القاعدة (c) على قاعدة الكماليات الخاصة بكاميرا الفيديو (راجع الشكل التوضيحي C). بعد التأكد من كون كاميرا الفيديو في وضع الإيقاف، قم بتوصيل القابس الميني (الصغير) الستيريو من الطراز L بطرف توصيل المايكروفون الموجود في كاميرا الفيديو (راجع الشكل التوضيحي D).

أسماء ووظائف الأجزاء

(راجع الشكلين التوضيحيين E و F)

1 **حاجب الريح**
ضعه على المايكروفون لتقليل ضوضاء الريح أو صوت التنفس.

2 **مصباح التحقق من البطارية**
يومض مصباح التحقق من البطارية لحظياً مبيّناً حالة البطارية عند تحويل مفتاح التيار/نمط الإلتقاط من وضع الإيقاف OFF إلى وضع التشغيل ON. عندما يومض مصباح التحقق من البطارية وميضاً خافتاً أو لا يومض البتة، إستبدل البطارية بأخرى جديدة.

3 **مفتاح التيار/نمط الإلتقاط**
حدّد الموضع تبعاً لمصدر الصوت.

ON	تشغيل
OFF	إيقاف
90°	عند إلتقاط صوت بمجال صوتي ضيق، أو صوت بعيد (محادثة، آلة عزف منفرد، الخ).
120°	عند إلتقاط صوت بمجال صوتي واسع، أو صوت قريب (حفلة موسيقية، مسرحية، الخ).

راجع الجدول أعلاه كمرجع قياسي تقريبي.
قم باختيار الموضع تبعاً لما تفضّله أنت شخصياً.

4 **غطاء البطارية**

5 **محوّل القاعدة**

6 **قابس ستيريو ميني طراز L**

7 **مربط السلك**
ثبّت السلك ضمن مربط السلك.

المواصفات

النوع	نظام ستيريو MS (منتصف الجانب)
طول سلك المايكروفون	٢٨ سم تقريباً
متطلبات القدرة الكهربائية	بطارية قرصية (LR44/SR44)
عمر البطارية	(في درجة حرارة الغرفة) ١٠٠ ساعة تقريباً (بإستعمال بطارية LR44) (بإستعمال بطارية SR44: ٢٠٠ ساعة تقريباً)
الأبعاد	٢٧ مم × ٦٠.٥ مم × ٧٢.٥ مم تقريباً (بدون اللسان ومقبض التدوير والسلك)
الكتلة	٥٠ جم تقريباً (مع البطارية)
الكماليات المرفقة	حاجب الشمس (١) بطارية قرصية قلوية LR44 من طراز Sony (١) (مركّبة على المايكروفون) جراب حمل (١) تعليمات التشغيل (١)
التوجيه	نمط الإلتقاط: 90° (٩٠ درجة) أو 120° (١٢٠ درجة)، تحويل بدرجتين (راجع الشكل التوضيحي F)

التصميم والمواصفات عرضة للتغيير دون إشعار.